



今年度も目指します「子どもが 自ら育つ 学校づくり」

安城中部小学校校長 稲留 雄一

待望の春の到来です。77名の新1年生を迎え、総児童数455名で令和7年度のスタートを切ることができます。ご入学・ご進級、おめでとうございます。本年度は、全校児童が体育館に入って入学式・始業式を行いました。コロナ禍以来の実施となり、不安な部分もありましたが、安城中部小学校の子どもたち全員が一堂に会しての新年度のスタートは、素敵なことであり、意味のあることだと思いました。

舞台上から見渡してみると、新一年生の「ピカピカ」輝く笑顔、在校生の昨年度末とは違った引き締まった表情。一人一人の心の内が現れているようでした。

新しい出会い。新しい環境でのスタートは、子どもたちが新しい自分に変身する絶好の機会になります。時間はつながっているので、たった一日で子どもの本質が変わるということはありませんが、新年度の始まりは、その大きなきっかけであることは間違いありません。子どもたちは「より良い自分に」「素敵な一年に」と心の中で願っているに違いありません。であるなら、それを精一杯支えることが、私たち教職員の、ご家族の務めであると思います。いわゆる三日坊主に終わってしまうこともあるのかもしれませんが、三日分は成長したのだというくらいのおおらかな気持ちで、子どもを支えていきたいものです。

さて、安城中部小学校では、引き続き「子どもが 自ら育つ 学校づくり」を目指して学校教育を推進してまいります。「教師が教える」から「子どもが学ぶ」へ。「子どもを育てる」から「子どもが育つ」へ。私たち教職員一同は、これまでの教育観を更新しながら、幸せな未来を生き抜いていくための基礎を子どもたちに育んでいきたいと願い、日々子どもたちと接してまいります。「子ども」を主語にした教育活動は、教師が主体となるよりも計画的に進める必要があります。手間や時間もかかります。

それでも、子どもたちの輝く未来のために、手間をかけ、時間をかけて学校教育を進めてまいります。「がんばらせる」でもなく、「放任」でもなく、子どもが「がんばりたくなる」授業を、学級を、そして学校行事を目指してまいります。本年度も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

いよいよ、安城中部小学校前に大型ショッピングモールが開店します。どのような影響があるのか、計り知れないところもありますが、子どもたちの安全・安心が第一です。保護者の皆様におかれましても、どうしても送迎が必要で、お車で来校しなければならないこともあると思いますが、大変な時間を要することは容易に想像できます。これまでのようにはいかないと考えたほうが良いでしょう。お互いに連絡を取り合って、子どもたちが困らないようにしていきましょう。